

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270135116		
法人名	社会福祉法人 鳳彰会		
事業所名	グループホーム ひこばえ		
所在地	長崎市早坂町1180番地7		
自己評価作成日	平成29年11月6日	評価結果市町村受理日	平成30年1月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://ngs-kaigo-kohyo.jp/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	平成29年12月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型ということで、地域とのかかわりや、寄り添い人の心を大切にいたします。当ホームは、特別養護老人ホーム併設で、同敷地内にケアハウス・デイサービスセンター・ユニット型ショートステイがあり、地域での役割を根差すために各事業所や協力機関との連携を図り、より質の高いサービスを提供できるように努めております。協力医療機関との連携を充実させ、ご利用者様・ご家族様に安心して過ごしていただけるように個々の状況・状態に応じてケアの充実を図っています。地域の方へ支えていただきながら、今後もグループホームとしての役割を果たせるよう目指していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは特別養護老人ホームと併設し、敷地内にはケアハウス、ショートステイのほか12月にはデイサービスセンターも開設し、各事業所と連携を図りながら支援に努められている。今年度、法人内における運営体制において大きな変革があり、新管理者のもとで、よりオープンで職員との風通しのよい関係性を築くよう取り組まれている。事故やヒヤリハットについて、月別、時間別、発生場所、対応状況等の詳細な分析がなされ、運営推進会議にも図り、事故防止に取り組まれている。地域とのつながりを大切にしたい取り組みとして、これまで地域との関係性が薄かった面があったが、平成29年の夏には関連事業所と合同で夏まつりを開催したり、地域の行事には無料で駐車場を提供するなど地域との交流を深めていきたい意向が窺える。理事の交代等があり運営面で大きな変革があったが、新たに就任した副施設長及び管理者のもとで改善に向けて着実な一歩を踏み出していることが窺え、今後の更なる取り組みに期待が持てるホームと言える。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

ユニット名

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホーム内(玄関前)に提示しており、常に実践に努めています。	ホーム内に理念を掲示し、職員が日々の業務の中でも意識し、実践に繋がるよう努められている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度より、地域の方をお招きし夏祭りを実施したり、近辺の八百屋・ストアに買い物に出かけたりして交流の場を作っています。また、地域で行事ごとがあるときには駐車場の提供等行っております。	これまで地域との関係性が薄かった面があったが、平成29年の夏には関連事業所と合同で夏まつりを開催したり、地域の行事には無料で駐車場を提供するなど地域との交流を深めていきたい意向が窺える。自治会長ともコンタクトをとり地域情報を得ながら祭り等の行事にも積極的に参加するよう取り組まれている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	買い物や、散歩を行ったりし認知症になっても理解ある地域へと貢献できるように努めています。また、このようなホームがあることで、安心でき相談等があることも事実です。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホーム内での様子、状況や取り組みなどを報告しています。また、ご意見やご要望に応じての適切な対応や質の向上に努めております。	運営推進会議ではホームの利用状況に加え、個人情報に配慮した上で事故発生状況やヒヤリハット等についても報告し、意見交換がなされ、運営に活かすよう取り組まれている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	報告、相談等は都度行っています。	当ホーム管理者は隣接の関連事業所の管理者を兼務していることもあり、行政担当者と当該事業を運営する上での相談や連絡をその都度とっていることが窺える。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関しては、行っておりません。職員が個々の状態・状況を把握したうえでのケアの充実に努めています。	身体拘束は行っていない。管理者は身体拘束の弊害を理解しており、職員に対しても内部研修や法人内の委員会を通じ周知を図り身体拘束をしないケアに取り組まれている。夜間帯は必要に応じて鈴を活用し察知に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待に関しては、担当者会議やカンファレンスなどで、ケアの見直しや防止に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	書物など、理解を深めるように努めているが、機会があれば、外部研修にも参加できるように行いたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や面接の際は、不安や疑問がないように丁寧に説明することを心掛けております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	担当者会議時やケアプラン変更時などは、意見をお聞きしたり要望等があれば、都度対応しています。職員間での情報共有といたしまして、連絡ノートを活用し共有認識を図っております。	定期的なたよりを発行し、入居者個々の様子を家族に伝え、家族の来訪時やケアプラン作成時には意見や要望を聞くよう努め、出された要望等については職員と情報を共有するよう連絡ノートを活用するなどして取り組まれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時、意見交換を行い、精神的・身体的でのハード面、ソフト面での改善点やケアの充実を図れるように心がけ風通しよい環境に努めています。	これまでは旧管理者や旧経営陣等との意思疎通が十分できていなかった面が窺えたが、平成29年度より新管理者のもとで、よりオープンで職員との風通しのよい関係性を築くよう取り組まれている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人全体で取り組んでおります。個々と話す機会を設け向上できるように努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の参加や、他セクションとの連携を行うことで職員一人一人の質の向上も図られています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	サービスの質を向上させる上でも研修の機会を通じて、他機関との意見交換や交流を深めております。法人内でも他セクションとの連携を強化しレベルUPを図っている次第です。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご入居様が安心して生活が出来るように情報収集を行い、意向や要望等が話やすい雰囲気を中心掛り関係作りに努めております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様が安心して預けていただけるように、立場や思いを配慮しつつ、面会時やお便りなどで普段から、関係作りに心がけております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ソーシャルワーカーや医療連携室・ケアワーカー・ケアマネなども連携を持ち情報の共有を図り必要な支援や、他サービスの利用も含め相談・検討をしております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活を送る生活の場として、共に接し認識することの重要性や、役割を見出し支援できるように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人様やご家族様の関係を重要視しつつ、ご家族様と共に支援をし様々な事情に配慮しております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会には気楽に来ていただけるような雰囲気にてお待ちしております。外出時や住み慣れた地域のお話や今まで歩まれたお話など話題にしたりして心掛けてしております。	地域の催しへの参加や馴染みのある場所を訪れて関係が途切れないよう配慮されている。今後、入居者のアルバム作製も検討されている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご入居者同士の関係作りも大切にし、お互いが共有の場として、認め支えあえる様な働きかけを行い支援できるように工夫しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても途絶えないように、気楽に相談していただけるような雰囲気や普段より意識した関係作りに努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や要望など、意向の把握に努めるとともに、発する事の出来ない思いや、ご本人様の立場に立ったケアや環境に配慮しつつプランに活かせるように努めています。	入居者の表情や態度を観察し、意思疎通が困難な方には本人の真意がどこにあるのかを探りながら支援に努められている。本人の意向に沿い入居者自身が主体的に意思決定できるよう努められている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご入居者の情報収集を行い、日々の情報共有は、もちろんのこと共通認識にて把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の些細な出来事や、状況・状態変化にも共有し把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人様が、より良く暮らしていただけるように、普段より意見や意向を踏まえた上での、現状に応じた介護計画を作成いたしております。	職員や担当者と話し合いの場を設け、入居者の現状に応じた介護計画の作成に努められている。本人や家族の意向を確認し、適宜見直しを行いながら介護計画が作成されている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	常に日々の記録や連絡帳に関しては、情報の共有に努めていますし、毎日の実施状況を確認しチェックしています。その情報を生かしつつ介護計画の見直しを行っております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	個々のニーズに対応出来るように、日々の業務を工夫し柔軟に取り組んでいます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議などでの情報共有や、家族・ご入居者様との関わりの中での情報を共有しケアに活かせるように支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力機関による月2回の訪問診療で、状態報告や、相談を詳細に行っています。また、協力機関の医師やご本人様・ご家族様と相談をし、他機関への受診も行っています。	協力医療機関による月2回の往診が実施されている。家族や医師とも相談しながら必要に応じて専門医療機関への受診支援がなされている	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	法人内の看護師や協力機関の看護師や訪問などに相談し、適切な受診や指示が受けられるように支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院をした際の情報提供は、ご家族様の了承を得て協力しております。入院中も面会時や電話などで情報収集し、ご家族様・医療機関とも協力し早期退院が図れるように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や終末期ケアなどに関しまして、ケアプラン時に事業所でできることを十分にご説明をし相談に応じられるようにしております。家族に意向を踏まえながら、かかりつけ医院への報告・相談等も随時行い対応など確認しながら取り組んでいます。	緊急時における対応マニュアルが整備されている。終末期となった場合は、現状では同法人の特別養護老人ホームへ移動されている。	今後は終の棲家として看取り支援も実施していきたい旨の意向が窺えたので、家族には現状においてホームで対応できることを説明して理解を図り、更に看取りの支援ができるよう今後の体制整備に期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルや全体勉強会などで、都度確認をし共通認識が図れるように対応しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	火災訓練や、スタッフ会議などで常に確認をしています。マニュアルに沿って、確認をし周知し認識を高めています。	昼夜を想定した火災避難訓練を定期的の実施されている。重度化した方への避難対応としてベッドパッドを使用した訓練が実施されている。これまで地域との交流が少なかったが、地域住民や地元消防団の参加を促し、協力体制を構築していきたい意向が窺える。	緊急対応マニュアルは別事業所で保管されているため、ホームにおいて職員が目につく場所に保管しておくことが望まれる。また、災害時における役割分担が明確にできるよう検討することが望まれる。また、ホームの周辺状況を踏まえながら様々な自然災害に対する訓練を行うことが望まれる。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々のご入居者様の尊敬を重視し、ケアのあり方に関しても随時、改善が図れるように丁寧な対応を心掛けております。	職員は接遇の内部研修に参加するなどして入居者への尊重や誇りを大切に言葉かけや対応への意識付けがなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉にできないことや、表情を察し日常生活の中で思いや要望などを表現しやすいように、工夫しながら、ご本人様の意向・意思を確認し自己決定できるように促しております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご入居者様に合わせた柔軟な対応を心掛け、表情・状況に応じ、日々工夫して希望に添えるように支援しております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	心地よく生活していただけるように、日々の日常動作に関して(洗面・整髪・衣服等)清潔・おしゃれを楽しめるように支援しております。季節に合わせてのコーディネートは、もちろん理美容など、普段より心掛けております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に関しては、9月より当ホームにて、食材の準備・切る・煮る・配膳・下膳など一連の流れを行っています。その際、皮むきや、皿拭きなどご本人様に確認の上、職員と作業の流れ等を行っています。	キッチンを対面キッチンに改善してホームで調理を行い、その際に皮むきや皿拭きなど入居者の残存能力を活かすよう取り組まれている。食事が楽しみ事となるよう取り組まれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嗜好に応じてのメニューを取り入れたり、四季折々の食材や朝・昼・夕の提供を行い、おやつなど、ご入居者様と話し合い手作りしたり、職員と一緒にしています。状態に応じて水分量や摂取内容にも心掛けております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアは行っています。義歯や残歯のブラッシングには、職員が確認をし清潔維持に努めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個別の排泄チェック表や、職員間での情報交換、ご入居者様の言葉などを留意しながら、適時に対応を行ったり、トイレ誘導などでの声かけや誘導を心掛けスムーズな排泄が出来るように心がけております。	入居者個々に排泄チェック表を記録し、本人の状態に応じて適宜声かけやトイレ誘導などを行い、スムーズな排泄ができるよう努められている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足にならないように、引水物の工夫や、介助にて促したり腹部マッサージを行ったりし、ご入居者様に応じての対応・予防に努めております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	個別対応を行い、無理強いをせず、その日の体調を考慮したうえで入浴していただいております。	入浴日は週に2回のペースで支援されているが、その方の状況に応じて順番や時間等その都度考慮されている。時季に応じて菖蒲湯やゆず湯など入浴を楽しめるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状態により、安眠が保てるように工夫しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬に関しては、副作用・用途を把握し、Dr・薬剤師などとも情報の共有や、状態など注意し服用後の様子を観察しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の個々の生活歴や状況に応じた役割を声かけとともに提供したり、楽しみが見出せるように話題作りに活かしております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご利用者様の状況や言動に、耳を傾け柔軟な対応を行っております。散歩や、地域のお祭りにも参加させて交流を深められるように支援しております。	本人の行きつけの理美容室へ支援するなど、本人の希望や家族の意向を聞き対応するよう努められている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理状況は、ここに財布を持っておられたり、ご家族様によりましては、管理上不安とのご意見もあり、ホームにて管理しているご利用者様もおられます。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	お電話がかかってきたり、ご本人様の要望時には取り次ぎ安心できるよう支援しております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者様が、安心して不穏なく生活していただけるように、季節の花々をいけたりし季節感を感じられるような配慮を致しております。また、ご家族様や、ご本人様がわかるように活動時の様子などを提示し思い出していただけるように工夫しております。	清潔感のある共用空間であり、採光もよい。不快となるような臭いはなく、季節感のある飾りをして、入居者は思いおもいに過ごされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者が、個々の思いを大切にしつつ、共同で生活できるように工夫しております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物や、愛用の品など生活感のある居室づくりを工夫しております。	カーテンやレースは耐火素材の物を使用されている。室内のエアコンも定期的に清掃がなされている。本人の持込み品については特に制限を設けておらず、その人らしい居室となるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	お一人お一人が安全で、バリアフリー空間の中で、出来るだけ自律出来るように工夫しています。		